

機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

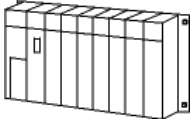


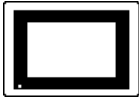
2.12 光洋電子工業（株）製 PLC

2.12.1 システム構成

光洋電子工業（株）製 PLC と GP を接続する場合のシステム構成を示します。

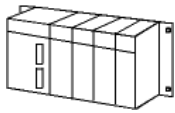



< 結線図 > は 2.12.2 結線図をご参照ください。

KOSTAC SG シリーズ（リンク I/F 使用）

CPU	リンク I/F	結線図	ターゲット機
	上位リンク モジュール 		
SG-8	G01-DM	RS-232C <結線図1>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
		RS-422 <結線図2>	GP/GLCシリーズ ST400/ST403
	CPUユニット上のリ ンクI/F *1	RS-232C <結線図1>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
		RS-422 <結線図3>	GP/GLCシリーズ ST400/ST403

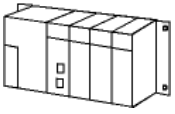

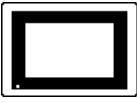
*1 CPU モジュールの汎用通信ポートに接続します。

KOSTAC SU シリーズ（リンク I/F 使用）

CPU	リンク I/F	結線図	ターゲット機
	上位リンク モジュール 		
SU-5	U01-DM	RS-232C <結線図1>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
SU-6	U01-DM	RS-232C <結線図1>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
SU-6B	CPUユニット上のリ ンク I/F *1	RS-232C <結線図1>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
SU-5M SU-6M	CPUユニット上のリ ンク I/F (汎用通信ポート1)	RS-232C <結線図9>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
	CPUユニット上のリ ンク I/F (汎用通信ポート2)	RS-422 <結線図10>	GP/GLCシリーズ ST400/ST403
	CPUユニット上のリ ンク I/F (汎用通信ポート3)	RS-232C <結線図11>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
		RS-422 <結線図12>	GP/GLCシリーズ ST400/ST403

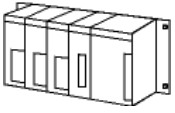
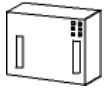


*1 CPUモジュールの汎用通信ポートに接続します。

KOSTAC SZシリーズ（CPUユニット上のリンク I/F 使用）

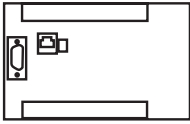


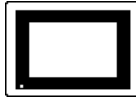
CPU	結線図	ターゲット機
		
SZ-4 *1	RS-232C <結線図4>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403

*1 CPUモジュールの汎用通信ポートに接続します。

KOSTAC SRシリーズ（リンク I/F 使用）

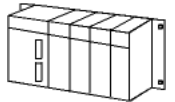

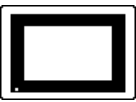
CPU	リンクI/F	結線図	ターゲット機
			
SR-21 SR-22	E-02DM-R1	RS-422 <結線図2>	GP/GLCシリーズ ST400/ST403

KOSTAC PZ3シリーズ（CPUユニット上のリンク I/F 使用）

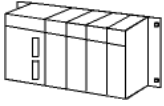


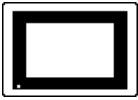
CPU	リンクI/F	結線図	ターゲット機
			
PZ3-16ND1-16TD1 PZ3-T PZ3M	CPUユニット上のリンクI/F *1	RS-232C <結線図7>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
		RS-422 <結線図8>	GP/GLCシリーズ ST400/ST403

*1 CPUモジュールの汎用通信ポートに接続します。

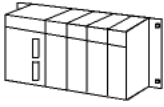



DL-205シリーズ（CPUユニット上のリンク I/F 使用）

CPU	結線図	ターゲット機
		
D2-240	RS-232C <結線図5>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403

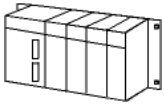

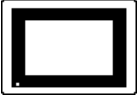
DL-305 シリーズ（リンク I/F 使用）

CPU	リンク I/F	結線図	ターゲット機
	上位リンク モジュール 		
D3-330	D3-DCM	RS-422 <結線図2>	GP/GLCシリーズ ST400/ST403

DL-405 シリーズ（リンク I/F 使用）

CPU	リンク I/F	結線図	ターゲット機
	上位リンク モジュール 		
D4-430	D4-DCM	RS-232C <結線図1>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
D4-440	D4-DCM	RS-232C <結線図1>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403
	CPUユニット上の リンク I/F	RS-232C <結線図1>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403

Direct Logic 05 シリーズ

CPU	結線図	ターゲット機
		
D0-05AA、D0-05AD D0-05AR、D0-05DA D0-05DD、D0-05DD-D D0-05DR、D0-05DR-D	RS-232C <結線図6>	GP/GLCシリーズ ST401/ST403

2.12.2 結線図

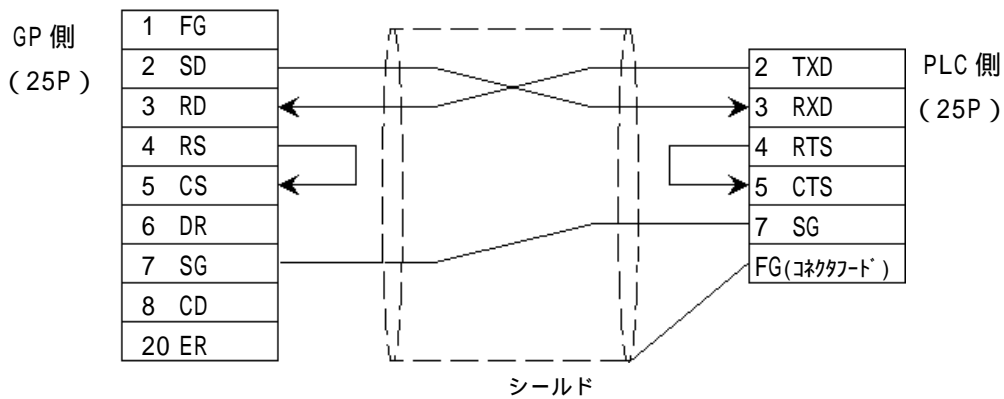
以下に示す結線図と光洋電子工業(株)の推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す結線図でも動作上問題はありません。

強制 ・ PLC 本体の FG 端子は、D 種接地を行ってください。

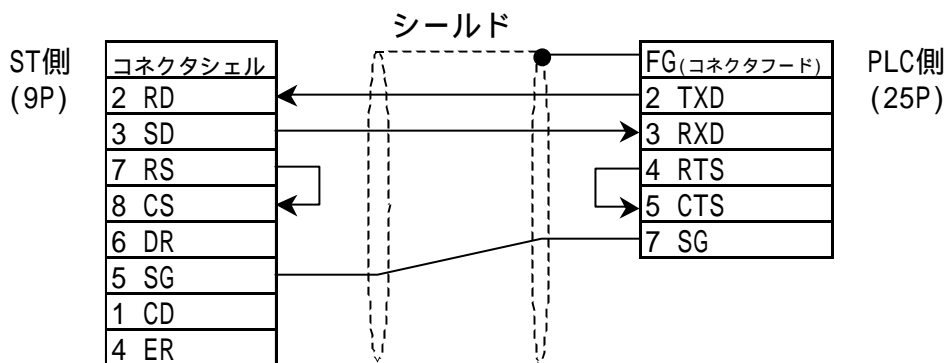
- 重要** ・ シールド線への FG の接続は、設置環境によって PLC 側、GP 側のどちらかを選択してください。コネクタフードを使って FG を落とす場合は導電性のあるものをお使いください。
- ・ RS-232C 接続の場合は、ケーブル長は 15m 以内にしてください。
 - ・ 通信ケーブルを結線する場合は、必ず SG を接続してください。
 - ・ RS-422 接続の場合、ケーブル長は 600m 以内にしてください。

< 結線図 1 > RS-232C

GP/GLC シリーズの場合



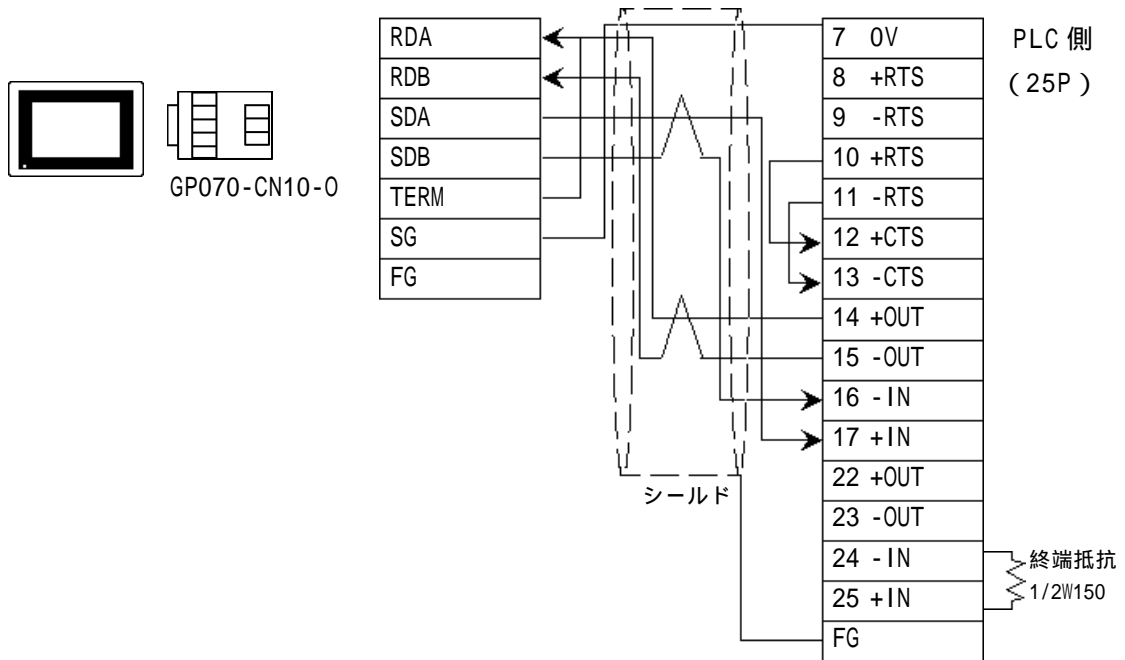
ST401/ST403 の場合



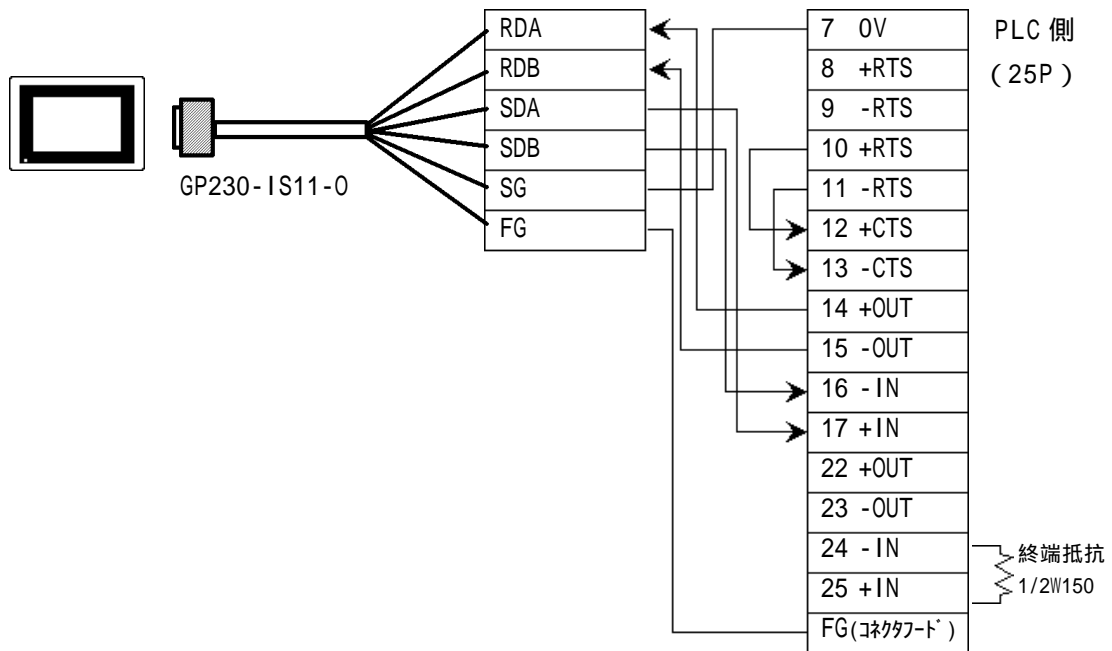
< 結線図 2 > RS-422

GP/GLC シリーズの場合

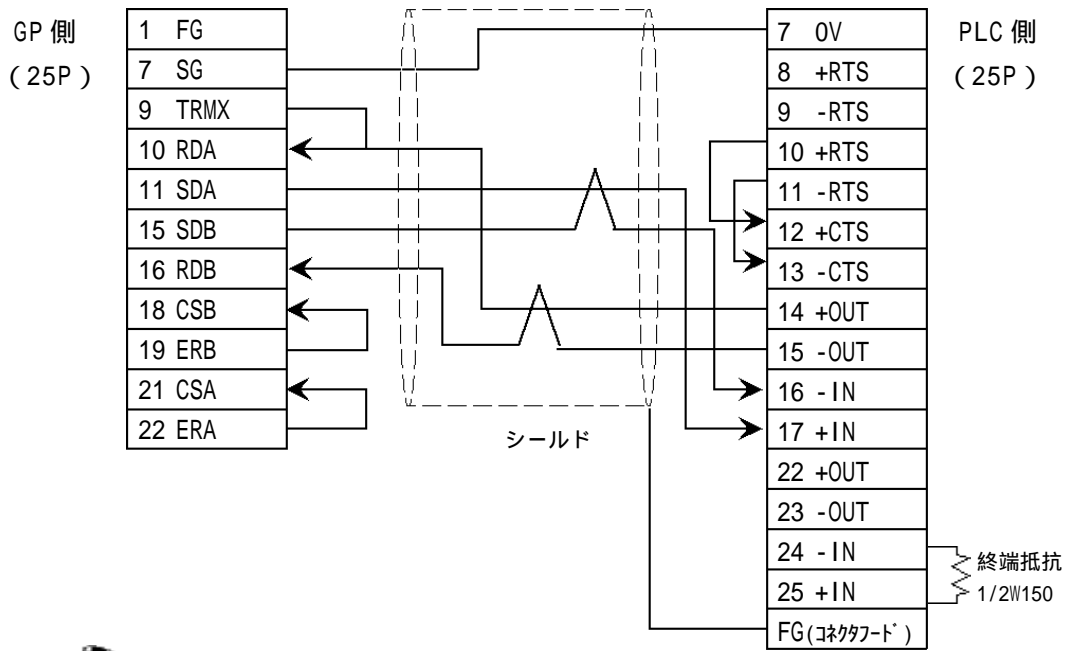
・（株）デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



・（株）デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



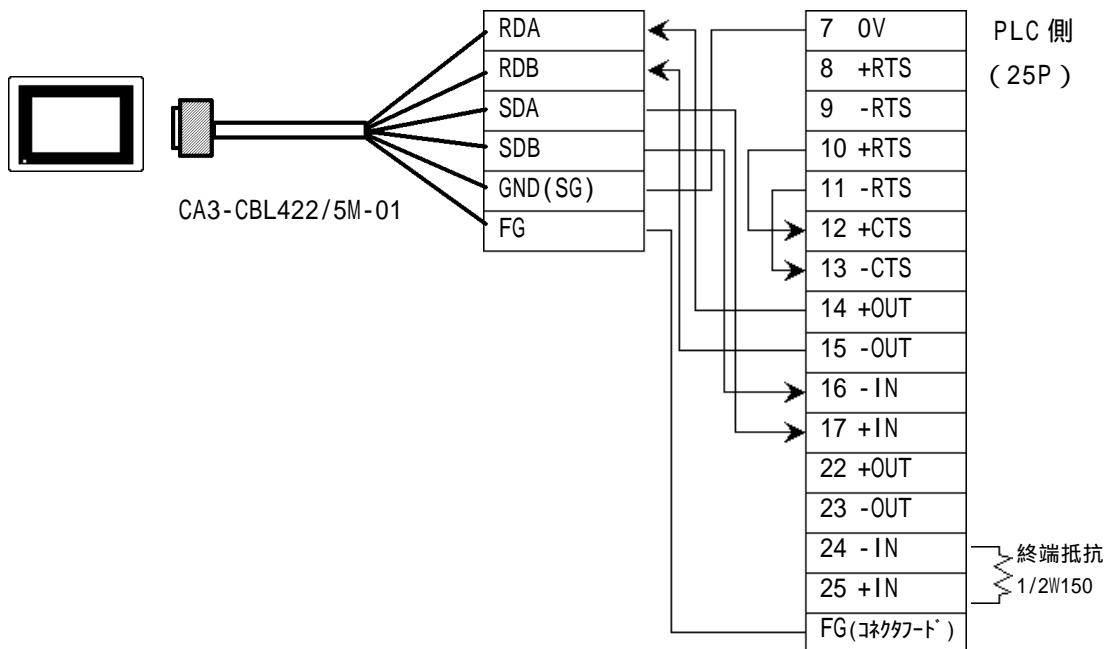
・ ケーブルを加工する場合



- ・ 接続ケーブルとして日立電線製C0-SPEV-SB(A)3P*0.3SQを推奨します。
- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。
- ・ RS-422接続の場合、ケーブル長は600m以内にしてください。

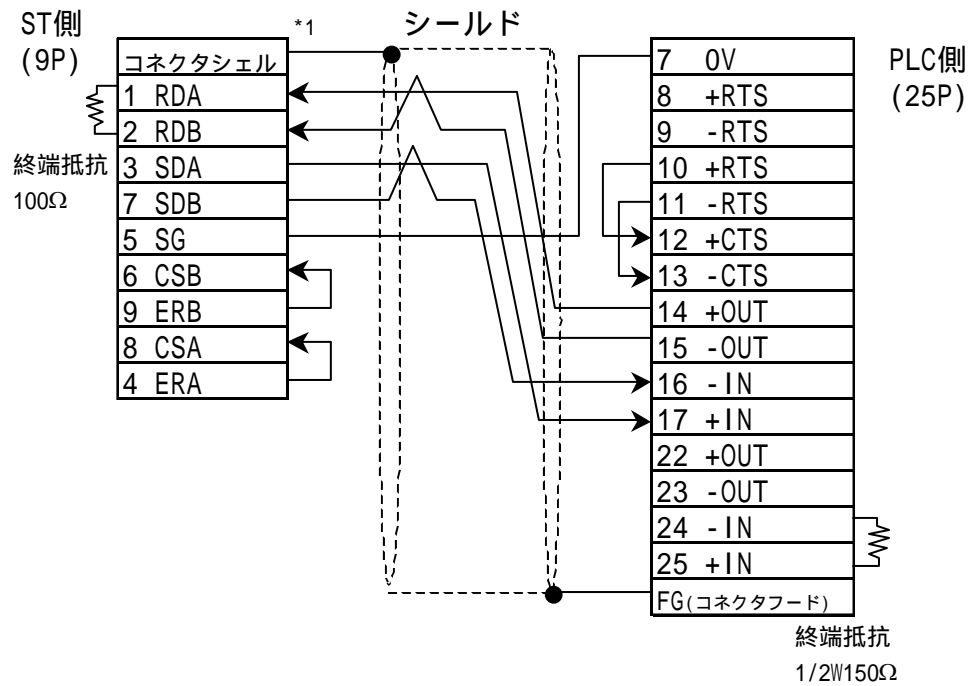
ST400/ST403の場合

- ・ (株)デジタル製RS-422ケーブルCA3-CBL422/5M-01を使用する場合



- ・ FG端子をFGに接続してください。FGの接続については「STとの接続について」1-5ページの*1を参照してください。

・ ケーブルを加工する場合

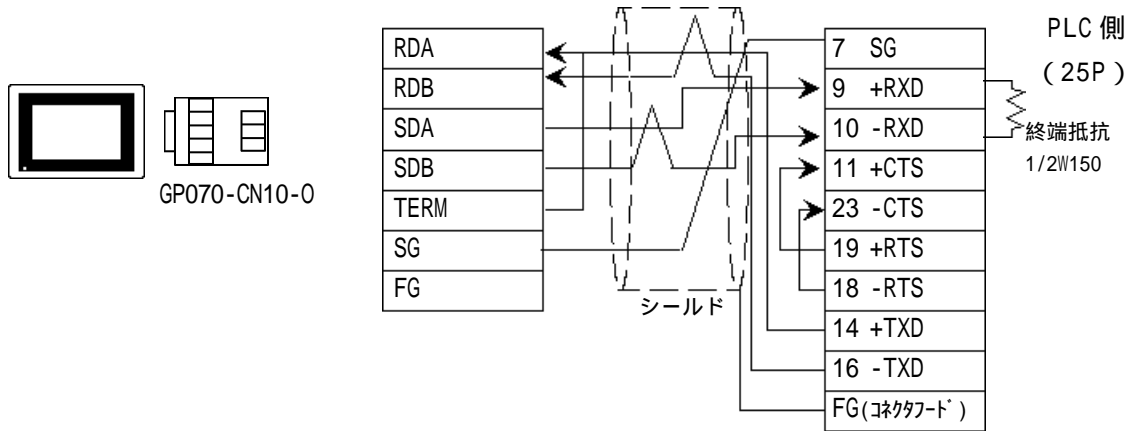


*1 シールドをコネクタシェルに接続してください。また、FG 接続については「ST との接続について」1-2 ページの「対応表2 RS-422インターフェースを使用する場合(ST400/ST403)」の **重要** の内容を参照してください。

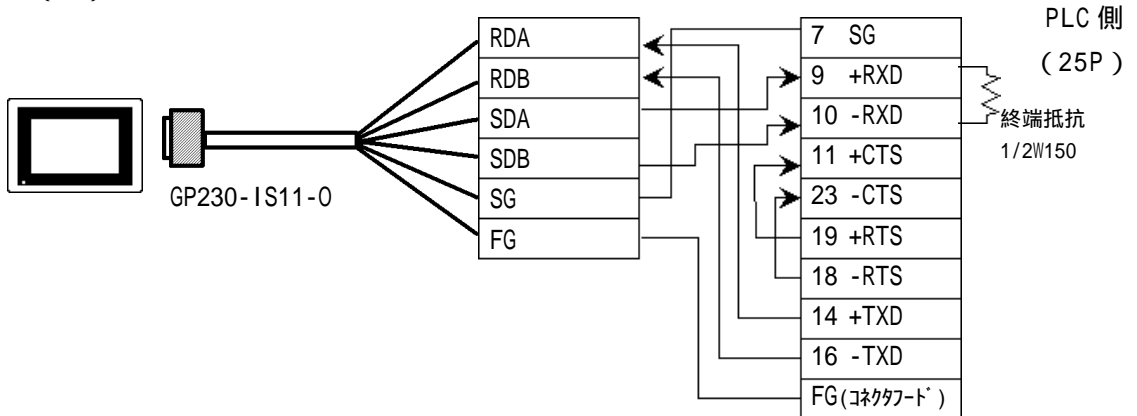
< 結線図 3 > RS-422

GP/GLC シリーズの場合

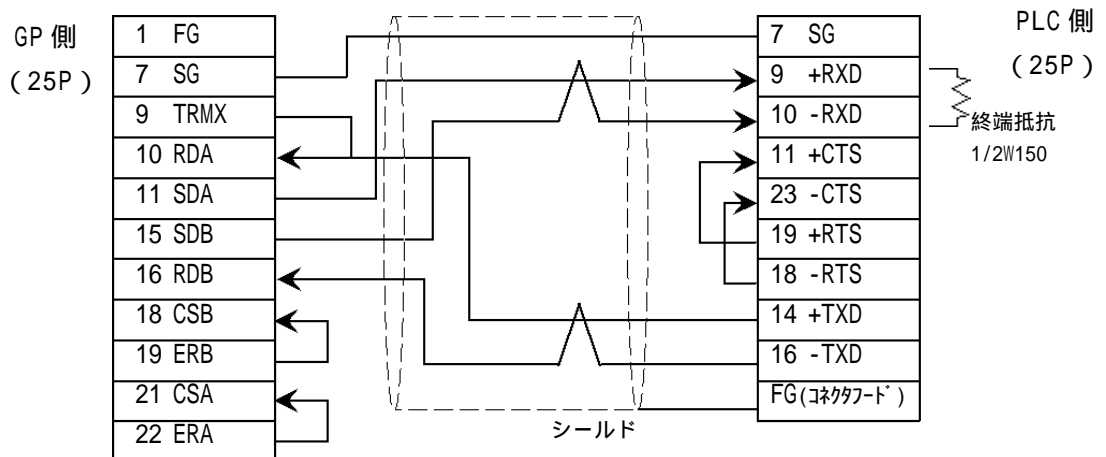
- ・（株）デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・（株）デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



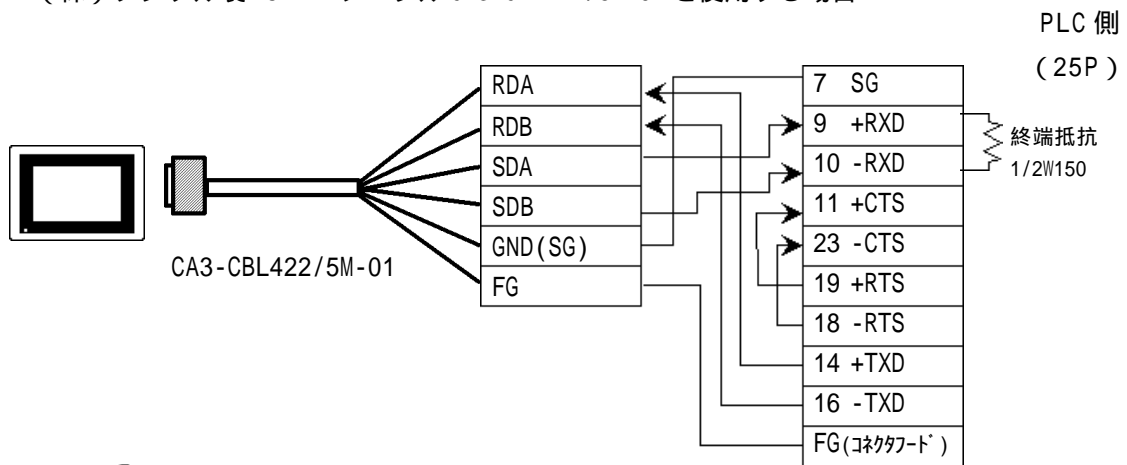
- ・ ケーブルを加工する場合



- ・ 接続ケーブルとして日立電線製C0-SPEV-SB(A)3P*0.3SQを推奨します。
- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。
- ・ RS-422接続の場合、ケーブル長は600m以内になしてください。

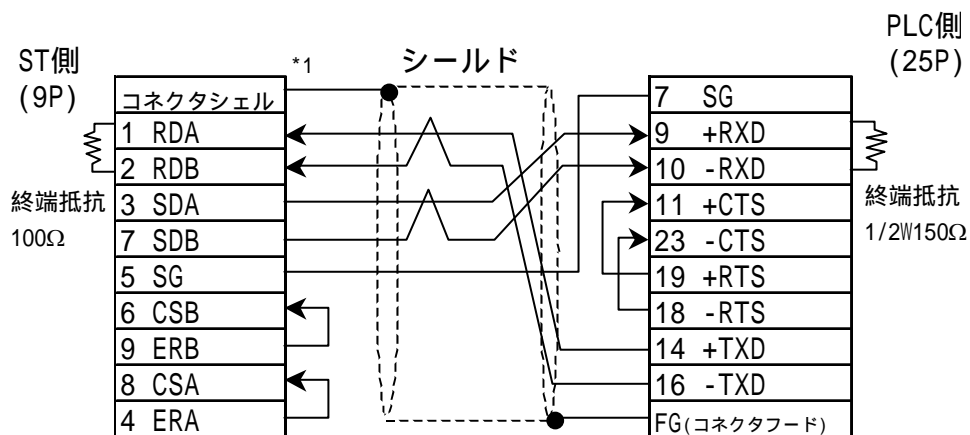
ST400/ST403 の場合

- ・（株）デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 を使用する場合



- ・ FG端子をFGに接続してください。FGの接続については「STとの接続について」1-5ページの*1を参照してください。

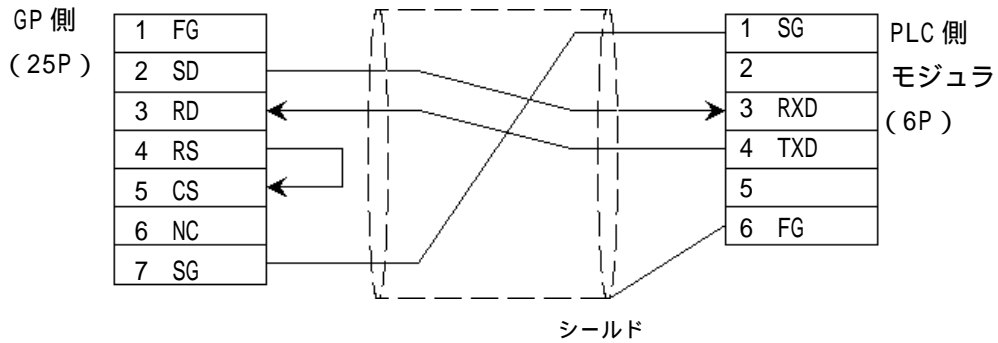
- ・ ケーブルを加工する場合



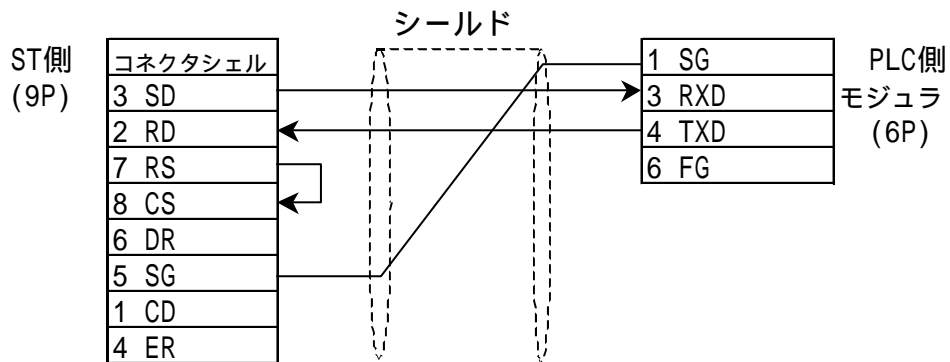
- *1 シールドをコネクタシェルに接続してください。また、FG接続については「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS-422インターフェースを使用する場合(ST400/ST403)」の **重要** の内容を参照してください。

< 結線図 4 > RS-232C

GP/GLC シリーズの場合



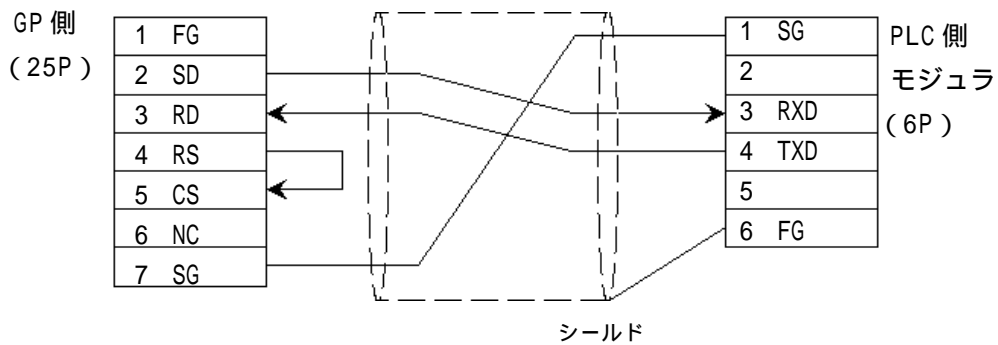
ST401/ST403 の場合



- GP/GLCシリーズ、およびST401との接続はSZ-4のポート2(汎用通信ポート)を使用します。ポート1はプログラムレス通信ポート用(プロコンS-20Pなど)です。

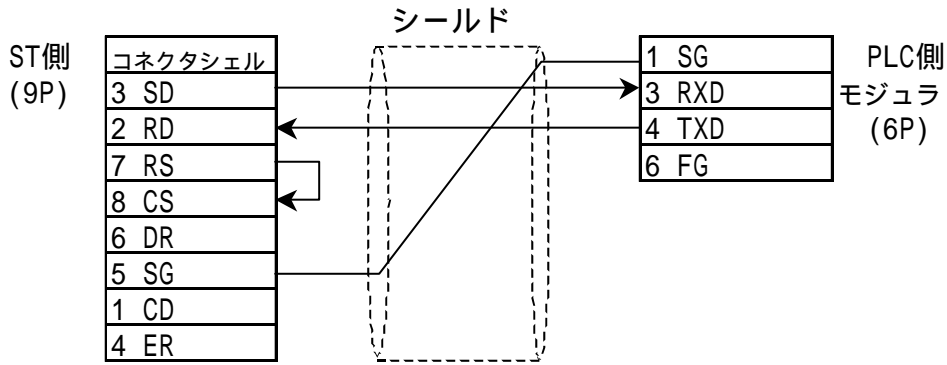
< 結線図 5 > RS-232C

GP/GLC シリーズの場合



- GPとの接続はD2-204のポート2(汎用通信ポート)を使用します。ポート1はプログラムレス通信ポート用です。

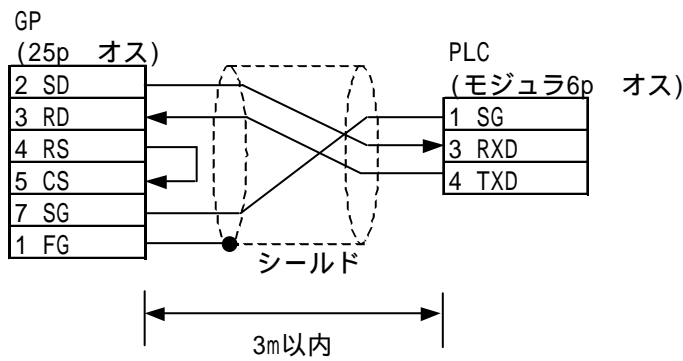
ST401/ST403 の場合



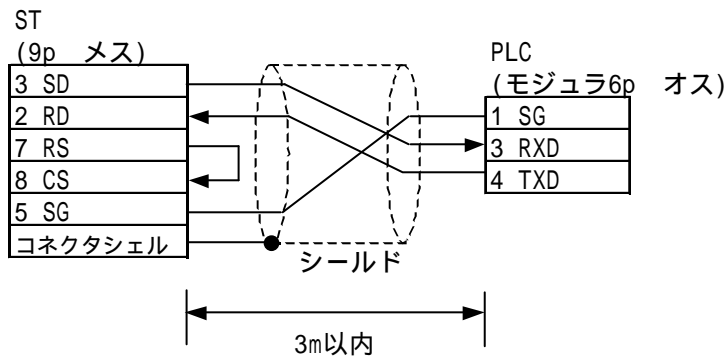
- ・ GP との接続は D2-204 のポート 2 (汎用通信ポート) を使用します。ポート 1 はプログラムレス通信ポート用です。

< 結線図 6 > RS-232C

GP/GLC シリーズの場合

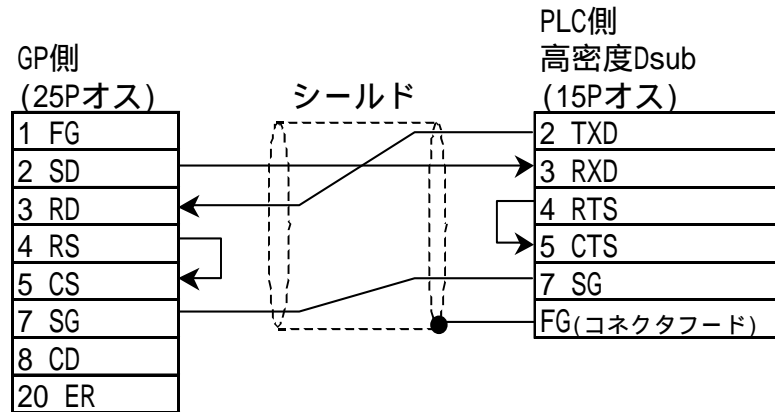


ST401/ST403 の場合

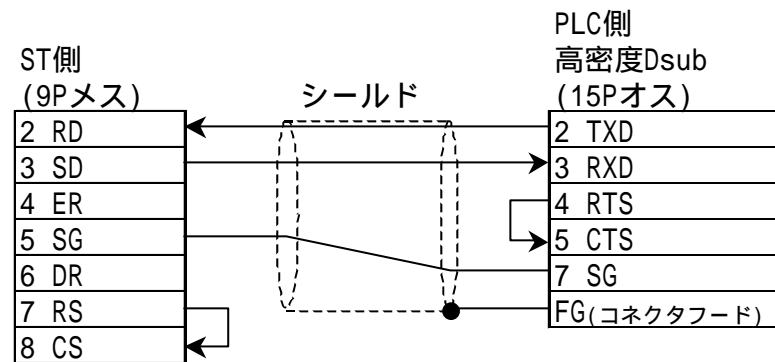


< 結線図 7 > RS-232C

GP/GLC シリーズの場合



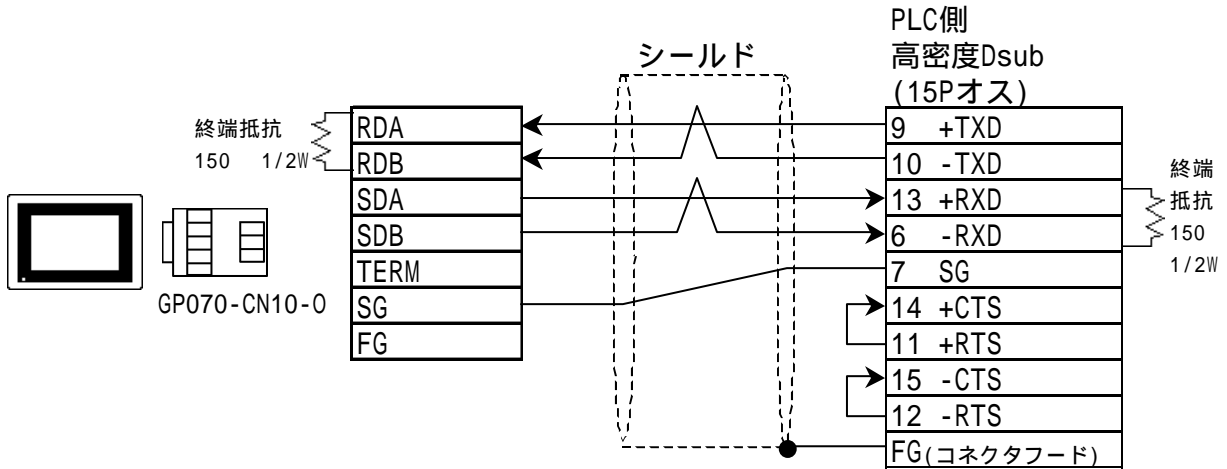
ST401/ST403 の場合



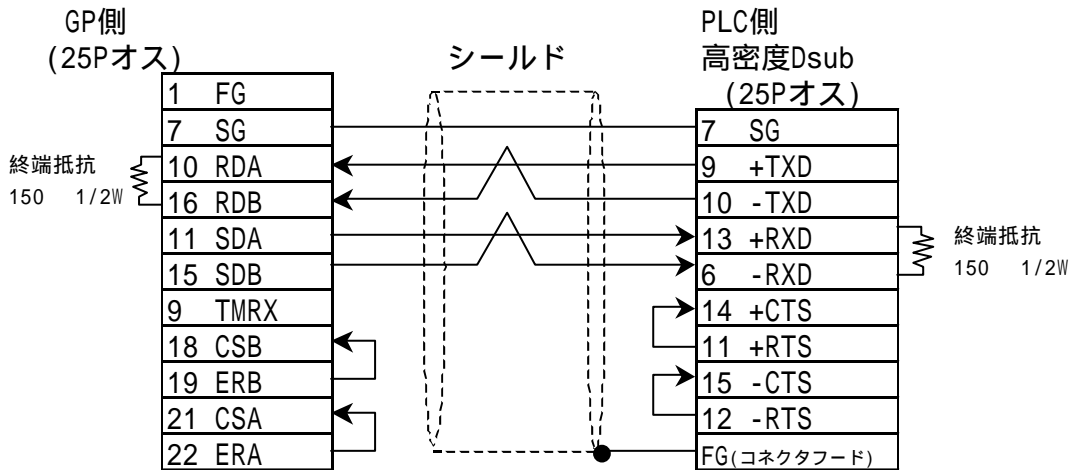
< 結線図 8 > RS-422

GP/GLC シリーズの場合

- ・（株）デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合

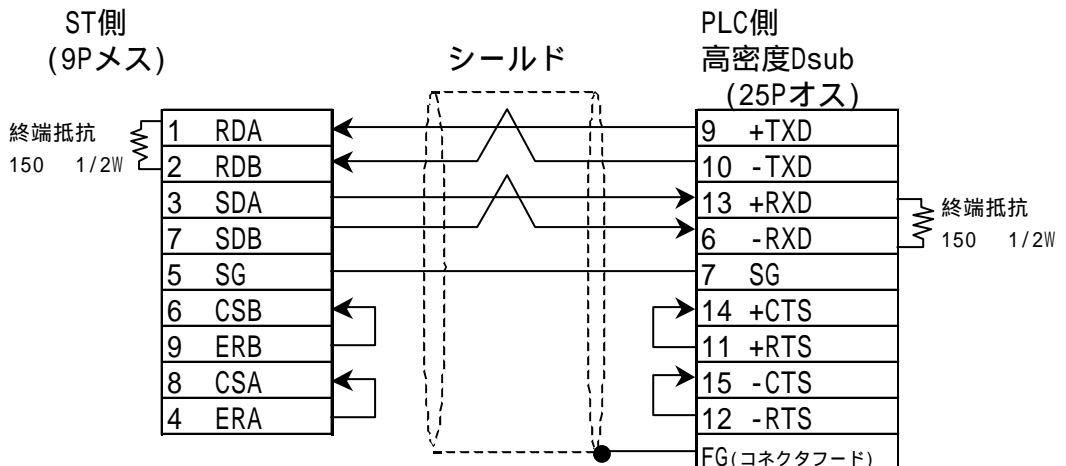


- ・ ケーブルを加工する場合



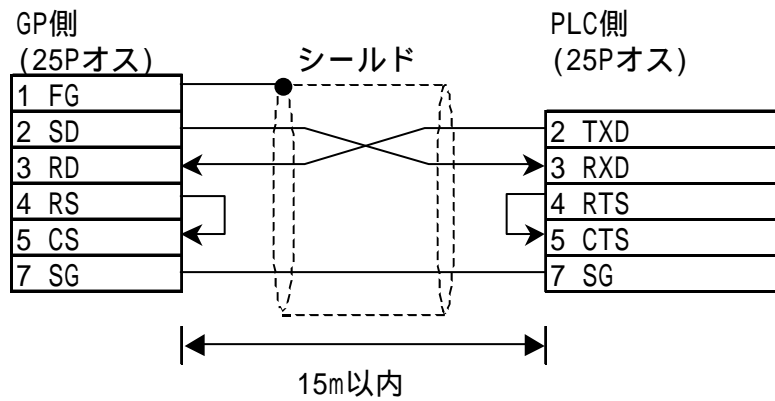
ST400/ST403 の場合

- ・ ケーブルを加工する場合

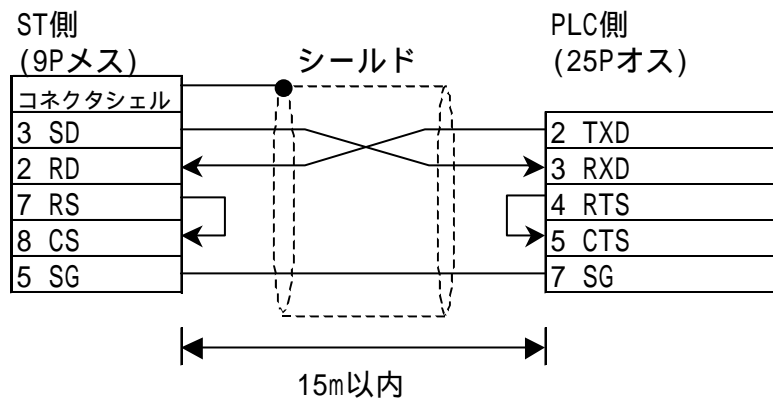


< 結線図 9 > RS-232C

GP/GLC シリーズの場合



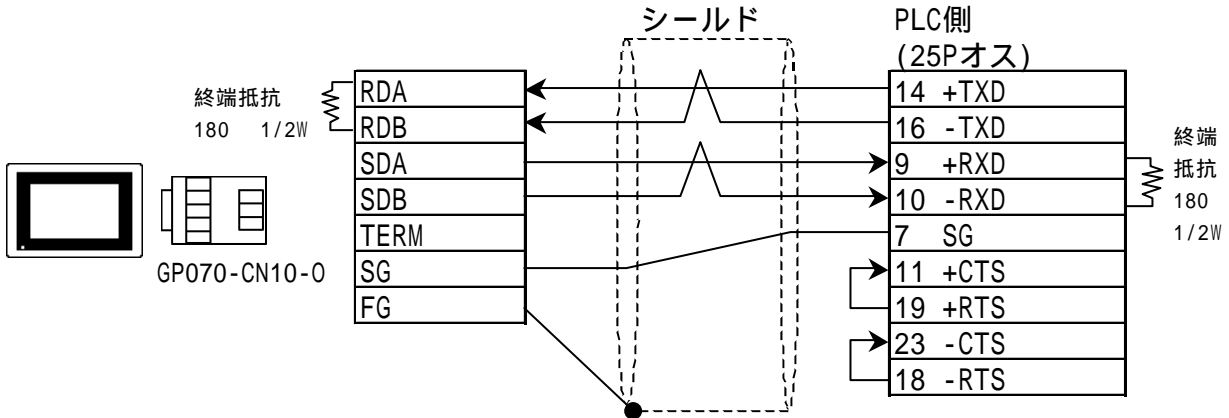
ST401/ST403 の場合



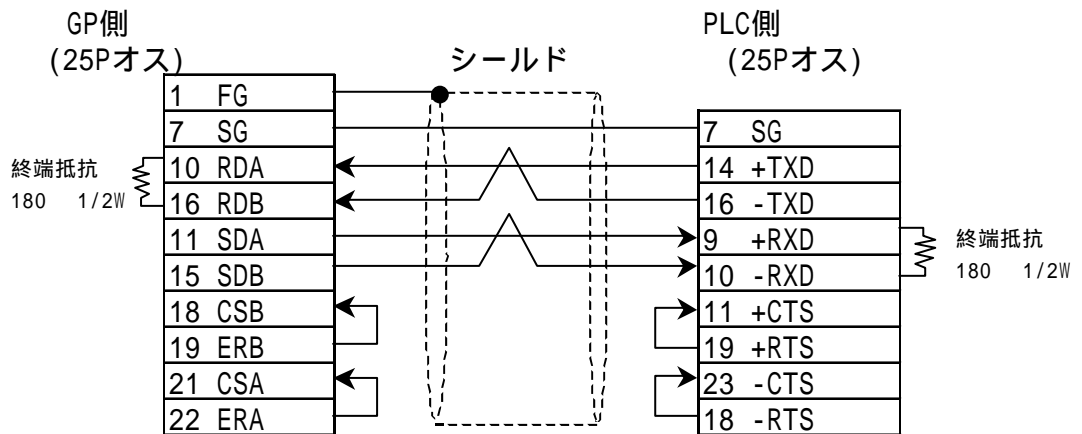
< 結線図 10 > RS-422

GP/GLC シリーズの場合

- ・（株）デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合

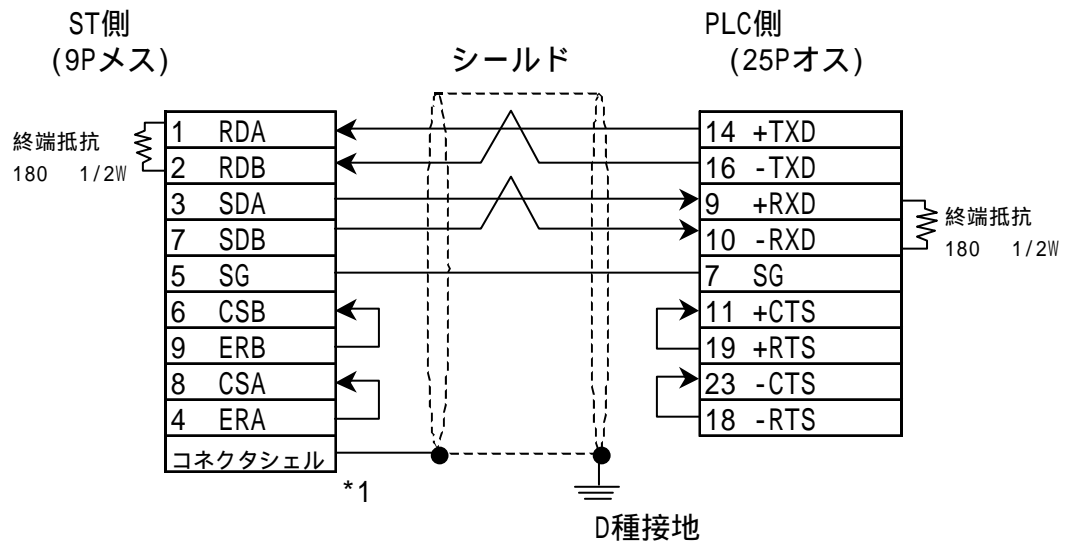


- ・ ケーブルを加工する場合



ST400/ST403 の場合

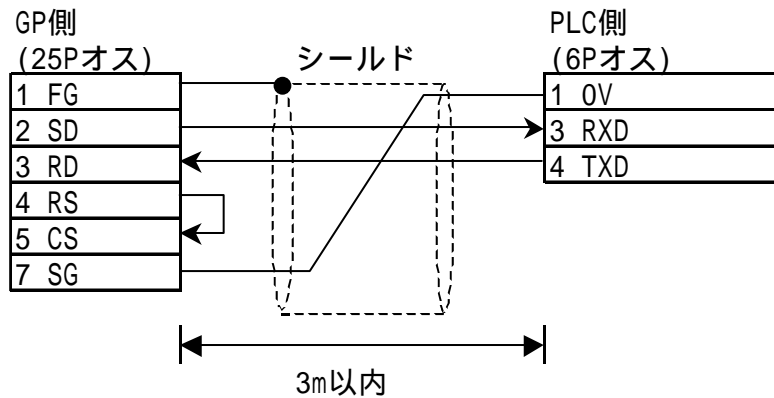
- ・ ケーブルを加工する場合



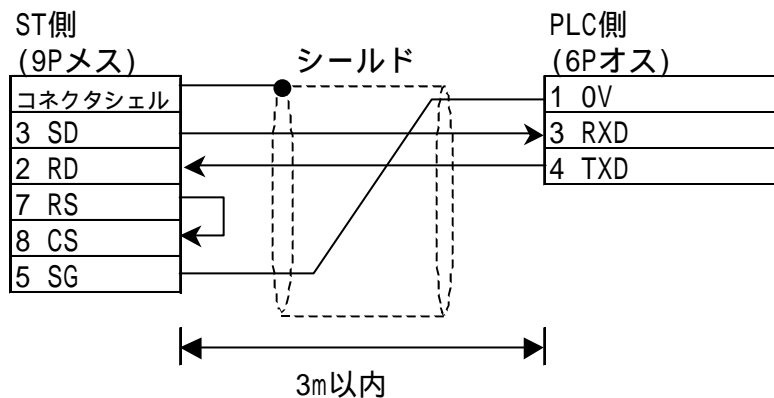
*1 シールドをコネクタシェルに接続してください。また、FG接続については「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS-422インターフェースを使用する場合(ST400/ST403)」の **重要** の内容を参照してください。

< 結線図 11 > RS-232C

GP/GLC シリーズの場合



ST401/ST403 の場合



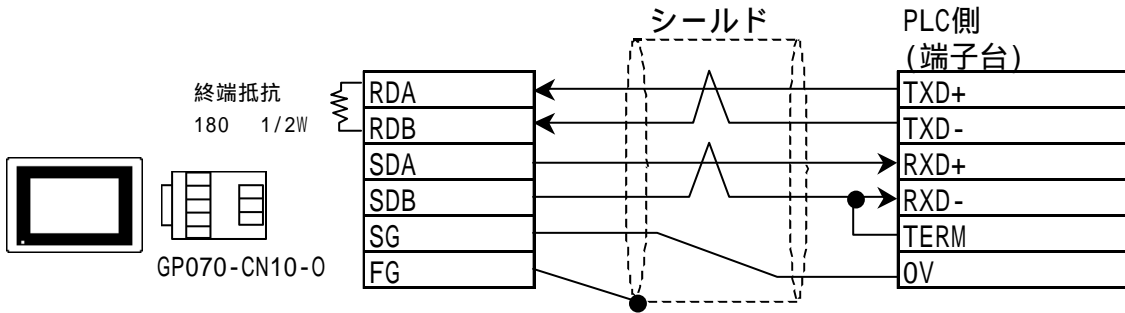
< 結線図 12 > RS-422



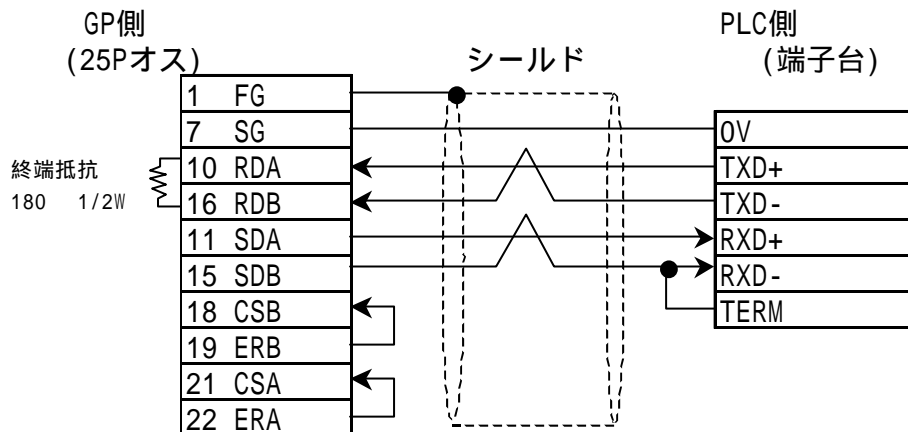
- ・ PLC 側の RXD- と TERM を短絡することで RXD+ と RXD- の間に 1/2W 180Ωの終端抵抗が挿入されます。

GP/GLC シリーズの場合

- ・ (株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合

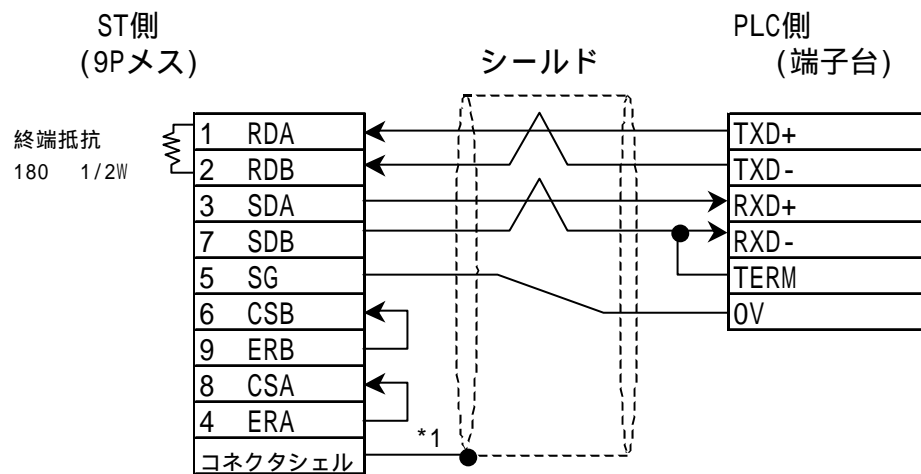


- ・ ケーブルを加工する場合



ST400/ST403 の場合

- ・ ケーブルを加工する場合



*1 シールドをコネクタシールドに接続してください。また、FG接続については「STとの接続について」1-2ページの「対応表2 RS-422インターフェースを使用する場合(ST400/ST403)」の **重要** の内容を参照してください。

2.12.3 使用可能デバイス

GPでサポートしているデバイスの範囲を示します。


KOSTAC SG シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	I0000 ~ I1777	R40400 ~ R40477	OCT 8
出力リレー	Q0000 ~ Q1777	R40500 ~ R40577	OCT 8
内部リレー	M0000 ~ M3777	R40600 ~ R40777	OCT 8
ステージ	S0000 ~ S1777	R41000 ~ R41077	OCT 8
全局伝送リレー (入力)	GI0000 ~ GI3777	R40000 ~ R40177	OCT 8
特別局伝送リレー (出力)	GQ0000 ~ GQ3777	R40200 ~ R40377	OCT 8
タイマ (接点)	T000 ~ T377	R41100 ~ R41117	OCT 8
カウンタ (接点)	C000 ~ C377	R41140 ~ R41157	OCT 8
タイマ (経過値)	—————	R0000 ~ R0377	OCT 8
カウンタ (経過値)	—————	R1000 ~ R1377	OCT 8
データメモリ1	—————	R400 ~ R777	OCT 8 Bit 15
データメモリ2	—————	R1400 ~ R7377	OCT 8 Bit 15
データメモリ3	—————	R10000 ~ R37777	OCT 8 Bit 15

L/H

KOSTAC SU シリーズ（SU-5、SU-6、SU-6B）

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	I000 ~ I477	R40400 ~ R40423	
出力リレー	Q000 ~ Q477	R40500 ~ R40523	
内部リレー	M0000 ~ M1777	R40600 ~ R40677	
ステージ	S0000 ~ S1777	R41000 ~ R41077	
リンクリレー/リンク入力	GI0000 ~ GI1777	R40000 ~ R40077	
特殊リレー	SP000 ~ SP137 SP320 ~ SP717	R41200 ~ R41205 R41215 ~ R41234	 *1
タイマ（接点）	T000 ~ T377	R41100 ~ R41117	 L/H
カウンタ（接点）	C000 ~ C177	R41140 ~ R41147	
タイマ（経過値）	—————	R0000 ~ R0377	
カウンタ（経過値）	—————	R1000 ~ R1177	
データレジスタ	—————	R1400 ~ R7377	 
特殊レジスタ	—————	R700 ~ R737 R7400 ~ R7777	  *1
拡張レジスタ	—————	R10000 ~ R17777	  *2

*1 SU-6B でのみ接続確認しています（特殊レジスタの R700 ~ R737 は SU-6B のみ使用可能です）。
データの書き込みはできません。

*2 SU-6B のみ使用可能です。

KOSTAC SU シリーズ (SU-5M、SU-6M)

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	I0000 ~ I1777	R40400 ~ R40477	OCT 8
出力リレー	Q0000 ~ Q1777	R40500 ~ R40577	OCT 8
リンクリレー	GI0000 ~ GI3777	R40000 ~ R40177	OCT 8
リンク出力リレー	GQ0000 ~ GQ3777	R40200 ~ R40377	OCT 8
内部リレー	M0000 ~ M3777	R40600 ~ R40777	OCT 8
ステージ	S0000 ~ S1777	R41000 ~ R41077	OCT 8
特殊リレー1	SP0000 ~ SP0777	R41200 ~ R41237	OCT 8 *1
タイマ（接点）	T000 ~ T377	R41100 ~ R41117	OCT 8
カウンタ（接点）	C000 ~ C377	R41140 ~ R41157	OCT 8
タイマ（経過値）	—————	R0000 ~ R0377	OCT 8
予備レジスタ	—————	R0400 ~ R0677	OCT 8 Bit 15
特殊レジスタ1	—————	R0700 ~ R0777	OCT 8 Bit 15 *2
カウンタ（経過値）	—————	R1000 ~ R1377	OCT 8
データレジスタ1	—————	R1400 ~ R7377	OCT 8 Bit 15
特殊レジスタ2	—————	R7400 ~ R7777	OCT 8 Bit 15 *2
データレジスタ2	—————	R10000 ~ R36777	OCT 8 Bit 15
特殊レジスタ3	—————	R37000 ~ R37777	OCT 8 Bit 15 *2

L/H

*1 書き込み不可(書き込みを行ってもエラーにはなりませんが、値は変更されません。)

*2 PLC側で用途が規定されています。GPから書き込みを行わないでください。


KOSTAC SZ シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	I0000 ~ I0477	R40400 ~ R40423	OCT 8
出力リレー	Q0000 ~ Q0477	R40500 ~ R40523	OCT 8
内部リレー	M0000 ~ M0377	R40600 ~ R40617	OCT 8
ステージ	—————	R41000 ~ R41037	OCT 8
タイマ（接点）	T000 ~ T177	R41100 ~ R41107	OCT 8
カウンタ（接点）	C000 ~ C177	R41140 ~ R41147	OCT 8
タイマ（経過値）	—————	R0000 ~ R0177	OCT 8
カウンタ（経過値）	—————	R1000 ~ R1177	OCT 8
データメモリ 2	—————	R2000 ~ R3777	OCT 8 Bit 15

L/H

KOSTAC SR シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力・出力	000 ~ 157 700 ~ 767	R000 ~ R014 R070	
内部リレー	160 ~ 377 770 ~ 777	R016 ~ R036 R076	
シフトレジスタ	400 ~ 577	R040 ~ R056	
タイマ・カウンタ (接点)	600 ~ 677	R060 ~ R066	
タイマ・カウンタ (経過値)	—————	R600 ~ R677	
データレジスタ	—————	R400 ~ R577	  

L/H

重要 ・ ビットデバイスのビット書き込み処理について

GPIはPLCのビットアドレスに対して書き込みする場合、まず書き込むビットアドレスを含むデータをワード単位で(ワードデータとして)読み出します。その後、読み出したデータに対して書き込むビットのみを変更し、ワードデータとしてPLCに書き込みます。

したがってビット書き込み中にラダープログラムで書き込みビットアドレスの前後のビットアドレスに対して書き込みすると正しいデータが書き込めない場合があります。

KOSTAC PZ3 シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	I0000 ~ I0777	R40400 ~ R40437	 *1
出力リレー	Q0000 ~ Q0777	R40500 ~ R40537	
内部リレー	M0000 ~ M1777	R40600 ~ R40677	
ステージ	S0000 ~ S1777	R41000 ~ R41037	
タイマ(接点)	T000 ~ T377	R41100 ~ R41117	
カウンタ(接点)	C000 ~ C177	R41140 ~ R41147	
特殊リレー	SP000 ~ SP777	R41200 ~ R41237	 *2
タイマ(経過値)	—————	R0000 ~ R0377	
カウンタ(経過値)	—————	R1000 ~ R1177	
データレジスタ	—————	R1400 ~ R7377	 
	—————	R10000 ~ R17777	 
特殊レジスタ	—————	R7400 ~ R7777	  *2
	—————	R37000 ~ R37777	  *2

L/H

*1 本体およびI/Oユニットに割り付けられているアドレスは書き込み不可

*2 アドレスによっては書き込み不可(書き込みを行っても変化しません)。

DL-205 シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X0000 ~ X0477	V40400 ~ V40423	OCT 8
出力リレー	Y0000 ~ Y0477	V40500 ~ V40523	OCT 8
コントロールリレー	C0000 ~ C0377	V40600 ~ V40617	OCT 8
ステージ	—————	V41000 ~ V41037	OCT 8
タイマ(接点)	T000 ~ T177	V41100 ~ V41107	OCT 8
カウンタ(接点)	CT000 ~ CT177	V41140 ~ V41147	OCT 8
タイマ(経過値)	—————	V0000 ~ V0177	OCT 8
カウンタ(経過値)	—————	V1000 ~ V1177	OCT 8
データメモリ2	—————	V2000 ~ V3777	OCT 8 Bit 15

L/H

DL-305 シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力・出力	000 ~ 157 700 ~ 767	V000 ~ V014 V070	OCT 8
内部リレー	160 ~ 377 770 ~ 777	V016 ~ V036 V076	OCT 8
シフトレジスタ	400 ~ 577	V040 ~ V056	OCT 8
タイマ・カウンタ (接点)	600 ~ 677	V060 ~ V066	OCT 8
タイマ・カウンタ (経過値)	—————	V600 ~ V677	OCT 8
データレジスタ	—————	V400 ~ V577	OCT 8 Bit 15 ÷ 2

L/H

DL-405 シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	X000 ~ X477	V40400 ~ V40423	OCT 8
出力リレー	Y000 ~ Y477	V40500 ~ V40523	OCT 8
内部リレー	C0000 ~ C1777	V40600 ~ V40677	OCT 8
ステージ	S0000 ~ S1777	V41000 ~ V41077	OCT 8
リンクリレー/ リンク入力	GX0000 ~ GX1777	V40000 ~ V40077	OCT 8
特殊リレー	SP000 ~ SP137 SP320 ~ SP717	V41200 ~ V41205 V41215 ~ V41234	OCT 8
タイマ(接点)	T000 ~ T377	V41100 ~ V41117	OCT 8
カウンタ(接点)	CT000 ~ CT177	V41140 ~ V41147	OCT 8
タイマ(経過値)	—————	V0000 ~ V0377	OCT 8
カウンタ(経過値)	—————	V1000 ~ V1177	OCT 8
データレジスタ	—————	V1400 ~ V7377	OCT 8 Bit 15
特殊レジスタ	—————	V7400 ~ V7777	OCT 8 Bit 15

L/H

Direct Logic 05 シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力リレー	I0000 ~ I0377	R40400 ~ R40417	*1
出力リレー	Q0000 ~ Q0377	R40500 ~ R40517	*1
内部リレー	M0000 ~ M0777	R40600 ~ R40637	*1
ステージ	S0000 ~ S0377	R41000 ~ R41017	*1
特殊リレー	SP0000 ~ SP0777	R41200 ~ R41237	*1
タイマ(状態ビット)	T000 ~ T177	R41100 ~ R41107	*1
カウンタ(状態ビット)	C000 ~ C177	R41140 ~ R41147	*1
タイマ(経過値)	—————	R0000 ~ R0177	*1
カウンタ(計数值)	—————	R1000 ~ R1177	*1
V-メモリ	—————	R1200 ~ R7377	Bit 15 *1 *2
V-メモリ不揮発性	—————	R7400 ~ R7577	Bit 15 *1
システムパラメータ	—————	R7600 ~ R7777	Bit 15 *1

L/H

*1 8進数指定のアドレス

*2 R1200 ~ R1377 はビット指定できません。(R1400 ~ R7377 はビット指定可)

2.12.4 環境設定例

（株）デジタルが推奨する PLC 側の通信設定と、それに対応する GP 側の通信設定を示します。

KOSTAC SG シリーズ（上位リンクモジュール使用の場合）

GPの設定		上位リンクモジュールの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	_____	
ストップビット	1bit	_____	
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	_____	
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	_____	
_____		スタ/スレーブの設定	スレーブ
_____		伝送モード	HEX
号機No.	1	局番	1

KOSTAC SG シリーズ（汎用通信ポート使用の場合）

GPの設定		汎用通信ポートの設定	
伝送速度	19200bps（固定）	伝送速度	19200bps（固定）
データ長	8bit（固定）	データ長	8bit（固定）
ストップビット	1bit（固定）	ストップビット	1bit（固定）
パリティビット	奇数（固定）	パリティビット	奇数（固定）
制御方式	ER制御	_____	
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	通信方式 (RS-232C使用時)	4連ディップスイッチ (CCM通信ポート用) をON
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	通信方式 (RS-422使用時)	4連ディップスイッチ (CCM通信ポート用) をOFF
_____		伝送モード ^{*1}	HEX
号機No.	1	CCM局番 ^{*1}	1

*1 ディップスイッチ2（CCM局番用）をOFFにし、プログラマで伝送モードとCCM局番の設定を行ってください（ディップスイッチ2がONになっていると、伝送モードがHEXに設定されないため、通信しません）。

KOSTAC SU シリーズ（上位リンクモジュール U01-DM 使用の場合）

GPの設定		上位リンクモジュールの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit（固定）	_____	
ストップビット	1bit（固定）	_____	
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
号機No.	1	局番	1

KOSTAC SU シリーズ（SU-6、SU-6B の汎用通信ポート使用の場合）

GPの設定		汎用通信ポートの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit（固定）	_____	
ストップビット	1bit（固定）	_____	
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	_____	
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	_____	
_____		データ形式 *1	HEX
号機No.	1	局番	1

*1 ディップスイッチ2（CCM局番用）をOFFにし、プログラマで伝送モードとCCM局番の設定を行ってください（ディップスイッチ2がONになっていると、伝送モードがHEXに設定されないため、通信しません）。

KOSTAC SU シリーズ (SU-5M、SU-6M)

GPの設定		PLCの設定 ^{*1}	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit (固定)	_____	
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
_____		通信プロトコル設定	CCMまたは自動判別
通信方式(RS-232C使用時)	RS-232C	_____	
通信方式(RS-422使用時)	4線式	_____	
号機No.	1	通信局番	1

*1 PLC側の通信設定は特殊レジスタの値を変更することで設定できます。設定方法についてはPLCのユーザズマニュアルを参照してください。

KOSTAC SZ シリーズ

GPの設定		汎用通信ポートの設定	
伝送速度	9600bps	伝送速度	9600bps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
_____		データ形式	HEX
号機No.	1	局番	1

KOSTAC SR シリーズ

GPの設定		上位リンクインターフェースの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	_____	
ストップビット	1bit	_____	
パリティビット	無	パリティビット	無
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	4線式	_____	
_____		ターンアラウンドリレー	ディレーなし
_____		電源投入時モード	RUNモード
_____		伝送モード	HEX
号機No.	1	子局番号	1

KOSTAC PZ3 シリーズ（汎用通信ポート使用の場合）

GPの設定		汎用通信ポートの設定	
伝送速度	9600bps	ボーレート	9600bps
データ長	8bits	データ長	8bits（固定）
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit *1
パリティビット	奇数	パリティ	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式(RS-232C使用時)	RS-232C	_____	
通信方式(RS-422使用時)	4線式	_____	
号機No.	1～90	局番	1～90
_____		プロトコル	CCMネット (Direct NET)
_____		データ形式	ヘキサ

*1 ラダーソフトで設定を変更することができますが、必ず「1」に設定してご使用ください。

DL-205 シリーズ

GPの設定		汎用通信ポートの設定	
伝送速度	9600bps	伝送速度	9600bps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
_____		データ形式 *1	HEX
号機No.	1	子局番号	1

*1 ディップスイッチ2(CCM局番用)をOFFにし、プログラマで伝送モードとCCM局番の設定を行ってください。(ディップスイッチ2がONになっていると、伝送モードがHEXに設定されないため、通信しません)。

DL-305 シリーズ

GPの設定		CPUモジュールの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	_____	
ストップビット	1bit	_____	
パリティビット	なし	パリティビット	なし
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	4線式	_____	
_____		ターンアラウンド リレー	ディレーなし
_____		電源投入時モード	RUNモード
_____		データ形式 *1	HEX
号機No.	1	子局番号	1

*1 ディップスイッチ2(CCM局番用)をOFFにし、プログラマで伝送モードとCCM局番の設定を行ってください。(ディップスイッチ2がONになっていると、伝送モードがHEXに設定されないため、通信しません)。

DL-405 シリーズ(上位リンク I/F 使用の場合)

GPの設定		上位リンクインターフェースの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit(固定)	_____	
ストップビット	1bit(固定)	_____	
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
号機No.	1	子局番号	1

DL-405 シリーズ(汎用通信ポート使用の場合)

GPの設定		汎用通信ポートの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit(固定)	_____	
ストップビット	1bit(固定)	_____	
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式(RS-232C使用時)	RS-232C	_____	
通信方式(RS-422使用時)	4線式	_____	
_____		データ形式 *1	HEX
号機No.	1	子局番号	1

*1 ディップスイッチ2(CCM局番用)をOFFにし、プログラマで伝送モードとCCM局番の設定を行ってください。(ディップスイッチ2がONになっていると、伝送モードがHEXに設定されないため、通信しません)。

Direct Logic 05 シリーズ

GPの設定		CPUモジュールの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps *1
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	奇数	パリティビット	奇数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
_____		プロトコル	CCM2(CCMネット)
_____		伝送モード	HEX
号機No.	1	子局番号	1

*1 伝送速度の設定はPORT2のみ可能です。PORT1は9600bps固定です。